

# 東京五輪を目指す

マリノス・町野選手 市長に意気込み

## W杯も出られたら「最高かな」

市役所を訪れた町野修斗選手―伊賀市役所で



履正社高（大阪）に進学し、それまでのMFからFWにポジションが変わり、1年生でレギュラーの座をつかんだ。2、3年生では日本高校選抜の試合に出場し、2年時では得意のミドルシュートで先制点をたたき込み、3年時はアシストを決めた。

今年、マリノスに入団すると、「練習の質が違ふ」とプロを実感したという町野選手。今は試合出場とレギュラー入りを目指し、2020年の東京五輪での日本代表を狙う。15日には地元約150人が集まり、後援会が設立されたという。

W杯の日本代表メンバーには名張市出身の山口蛍選手がいる。町野選手は東京五輪後に、W杯に出場できれば「最高かな」と語った。【大西康裕】

伊賀

サッカーJ1  
リーグ「横浜F  
・マリノス」に

入団した伊賀市出身の町野修斗選手(18)が18日、同市役所を訪れ

た。ロシアでサッカーワールドカップ(W杯)

開催のためにJ1リーグが中断されたのに合わせて帰省した。町野選手は岡本栄市長に「東京五輪を目指す」と目標を語った。

町野選手は、市立中瀬小時代に父、理さ

ん(56)が指導する地元のサッカーチームに所属、城東中時代は別のチームで活躍した。名前は「サッカー選手になるように」と父が願いを込めて付けたという。